

“well-being” を目指す発達支援 EDS-NETWORK発足記念シンポジウム
「エビデンスを活用した発達支援の未来」

パネルディスカッション：エビデンスを活かした
発達支援が当たり前になる未来に向けて

キッズライン

一般社団法人キッズライン（横浜市鶴見区）

代表理事 山本 崇博

2021年12月5日



キッズラインとは

- 2011年 一般社団法人キッズライン設立
 - 個別・小集団療育教室、学習支援教室を始める
 - 2013年4月 児童発達支援事業所 開設
 - 2013年9月 放課後等デイサービス 開設
 - 2019年4月 保育所等訪問支援 開設
 - 2021年3月 障害児相談支援事業所 開設
-

- 所在地：横浜市鶴見区岸谷
 - 多機能型事業所(定員10名)
 - 利用者数(2021.11実績)
 - 児童発達支援 30名 ・ 放課後等デイサービス 32名
保育所等訪問支援 7名 ・ 障害児相談支援 7名
 - スタッフ
 - 常勤職員 6名
 - 公認心理師 4名、言語聴覚士 2名
 - 非常勤職員 2名
 - 保育士、臨床心理士 各1名
-

キッズライン スタッフの前身

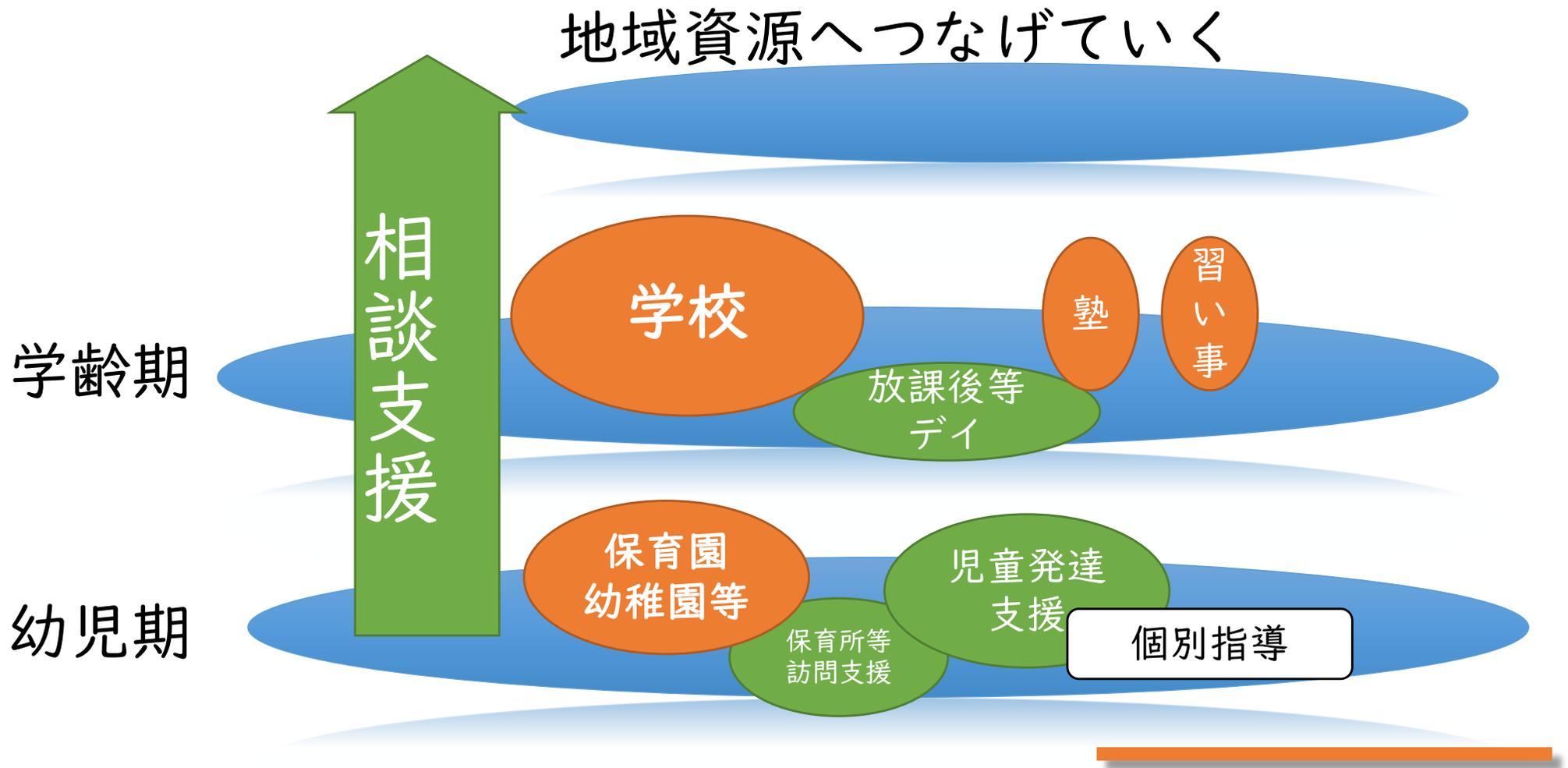


- 上智大学自閉症早期支援プロジェクト
 - 中野良顯・宮崎麻衣子・加藤明子・井藤友紀・山本崇博. (2006). 早期高密度行動治療を受けた6人の自閉症児のアウトカムを検証する. 日本行動分析学会第24回年次大会ポスター発表.
 - 東条健一. (2013). リカと3つのルール: 自閉症の少女がことばを話すまで. 新潮社.
- CREST高密度治療研究
 - 戦略的創造研究推進事業 CREST ・研究領域「脳の機能発達と学習メカニズムの解明」・研究課題「応用行動分析による発達促進のメカニズムの解明」研究終了報告書・研究期間 平成17年10月～平成23年3月・研究代表者:北澤 茂 (順天堂大学 医学部 教授)
https://www.jst.go.jp/kisoken/crest/report/sh_heisei17/gakusyu/01kitazawa.pdf





現状の福祉サービス制度の中で 必要な支援を届ける



キッズラインの課題と改善の経過①

2018年12月

- 子どものニーズに合わせて、週あたりの発達支援時間数を増やしたい



2021年12月

- 一部の子ども、週2回の利用。
 - 利用者のニーズと、他事業所の強みを知り、併用や移行の必要性を考える。
 - 幼稚園、保育園、学校での学びの様子を知る。
 - 相談支援等を通じた「家庭での支援」の支援
-

キッズラインの課題と改善の経過②

2018年12月

- 相談支援機能を形にしたい



2021年12月

- 2021年4月に相談支援事業所を開設。
- キッズラインの通所終了後のフォロー
- 地域の課題を抱える家族の支援



キッズラインの課題と改善の経過③

2018年12月

- 研修機関としての役割を果たしたい



2021年12月

- EDS-NETWORKに参加。
- 相談支援、保育所等訪問支援、自立支援協議会等の活動の中での、支援会議、事例検討を通じた地域での互いの学び。



再び：「モデル」をつくる

- 力を集約してモデルを作る
 - うまくいったモデルを広げる

- キッズラインは、行動原理（ABA）の考え方を元に支援を展開することを事業所の強みとして、地域における本人・家族・地域支援モデルづくりを目指す。

